

英 語 科

主任：曾川 恵子

(1) 今年度の目標

- ① 基礎・基本事項の定着と高い英語運用力を養う。
- ② 積極的に英語で自分の考えを表現したり、英文で書いたりする姿勢を養うとともに、他の人の意見を聞き取り、それに対して自分の意見を言ったり質問したりする能力を養う。
- ③ 自主的学習習慣を養う。

(2) 主な取り組みの計画

目標①についての主な取り組み

- ア 単語集「システム英単語」を1・2年生の定期試験と学力テストに出題し、長文読解のための語彙を増強する。
- イ 1年生英語表現Ⅰで、出席番号に基づき20人ずつに分けた少人数クラス授業を実施する。
- ウ 2年生のライティングで、2クラスを3つ（習熟度の高いクラス1つと標準的なクラス2つ）に分けた習熟度別少人数クラスで授業を実施する。クラスの実情に応じて授業内容も少し変化させる。
- エ 3年生は教科書だけでなく多くの演習問題を授業で扱い、大学入試等の実践に即した力を身につけられるようにする。学年当初より、リスニング教材を授業に取り入れ、センター試験に対応する。

目標②についての主な取り組み

- ア 1年生ではALTによるインタビューテスト（1学期）、Show & Tell（2学期）、ミニディベート（3学期）を実施し、スピーキングの力を養う。また、週末課題で英語の運用能力を養成し、夏休みには英文エッセイを書かせる。
- イ 2年生では週末課題やALTの授業でのディベート、英語表現Ⅱの時間でのエッセイライティングによって英語の運用能力を伸ばす。

目標③についての主な取り組み

- ア 1・2年生では斯文土曜塾や週末課題で計画的な学習の支援をする。また家庭学習用副教材を試験に出題し、家庭学習の充実を図る。
- イ 3年生で夏季休業中の課外を講座制にし、各自の目標に合った講座に参加できるようにする。

(3) 授業アンケートの結果と分析

ほとんどの生徒が意欲的に授業に取り組んでいるが、一部に学習困難を抱えている生徒がいるので、そのような生徒に関しては常に配慮し、個別指導で支援する。

(4) 今年度の成果と課題

目標①について

1・2年生全員に単語集「システム英単語」を持たせ、こまめに小テストを行い、定期試験と学力テストに出題したので、語彙力を強化できた。また、1年生の英語表現Ⅰと2年生の英語表現Ⅱで少人数クラスの授業を行うことにより、生徒のニーズによく対応した指導ができた。2年生で基礎力テストを実施し、基本事項の定着を図った。3年生は授業に大学入試問題やセンター演習を取り入れることにより、大学入試に対応する実践力を養った。

リスニングが弱い生徒がいるので、課外や週末課題にリスニングを取り入れることを検討する。

目標②について

1年生でALTによるインタビューテスト（1学期）、Show & Tell（2学期）、ミニディベート（3学期）を実施し、スピーキングの力を養った。また、週末課題で長文読解力を養成した。夏休みには英文エッセイを書かせ、良い作品は全国コンテストに応募し、入選者も出た。

2年生では週末課題やALTの授業でのディベート、英語表現Ⅱの時間でのエッセイライティングによって英語の運用能力を向上させた。

目標③について

1・2年生では斯文土曜塾や週末課題で計画的な学習の支援をした。また家庭学習用副教材を試験に出題し、家庭学習の充実を図った。

3年生で夏季休業中の課外を希望制にし、各自の志望校に対応した講座を開設して入試問題演習を行った。